

# ランウェイ (Runway)

自主の道 無限の創造 久遠の友情 (姫商校歌の歌詞より)

中野先生よりメッセージ (第2号)

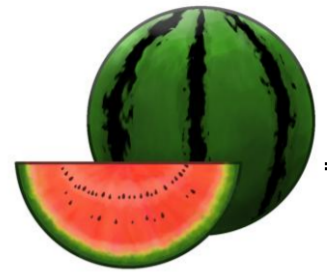
1年生は学校生活が慣れてきたころ、2・3年生は高校総体等で何かと忙しいこの季節。しかし、自分自身の進路に向き合っていくことも忘れてはいけません！空いている時間を見つけて、気になる大学や職種等を調べる時間をぜひ設けてみてください。夏休みはオープンキャンパスが各地であったりと、普段できないことにも挑戦するチャンスです。まずは一歩を踏み出すことが大切。時間はあるようで何もしないとあっという間に過ぎていきます。できることから取り組んでいきましょう。がんばれ姫商生！！

## アントニ・ガウディ

2026年6月10日、スペイン・バルセロナで、世界中が待ち望んだ歴史的な瞬間が訪れました。サグラダファミリアのメインタワー「イエスの塔」がついに完成し、ガウディ没後100年を記念する式典が執り行われました。1882年の着工から実に144年、世界一長い建設プロジェクトのひとつの大きな節目を迎えたわけですが、ここで、サグラダ・ファミリア聖堂を設計したアントニ・ガウディとはどのような人だったのでしょうか。彼は、1852年、スペイン北東部カタルーニャ地方のレウス近郊に生まれ、幼い頃からリウマチなどで体が弱く、外で遊ぶよりも、一人で自然の風景や植物、動物の骨格などをじっくり観察して過ごしたと伝えられています。学生時代から才能が認められ、家具デザインや都市計画にも関わるようになります。やがて実業家エウゼビ・グエルと出会い、彼の支援によってグエル邸やグエル公園など、多くの代表作を手がけました。19世紀末から20世紀初頭にかけて、カサ・パトリョやカサ・ミラといった集合住宅も完成させ、1914年頃からは、ほとんどの時間をサグラダ・ファミリアに捧げるようになります。ガウディは、サグラダ・ファミリアを「神に捧げる生涯の仕事」と考えていたとされ、自然を「神の創造した最高の芸術」と捉えて、建物の構造を考える際には、鎖を垂らしてできる曲線を逆さにしてアーチ形を導き出す実験などを行い、コンピュータのない時代に複雑な曲面建築を成立させました。1926年、ガウディはサグラダ・ファミリア近くで路面電車にはねられ、数日後に亡くなります。死後、その独創性と構造的合理性が再評価され、サグラダ・ファミリアの一部やグエル公園、カサ・ミラなど、多くの作品が「アントニ・ガウディの作品群」として世界遺産に登録され、20世紀を代表する建築家として国際的に高く評価されています。皆さん、スペインを旅行する際には「オラ」「グラシアス」「アディオス」などの言葉を知っていれば大丈夫です。笑顔で「オラ」「グラシアス」「アディオス」ですよ。

### Runwayの意味

滑走路・花道という意味があります。皆さんが、「進路」という滑走路から大きく羽ばたいてほしいという願いを込めました。



## 生徒の様子 (大学進学に向けた学習の様子)



## 進路に関する行事

- 6月 卒業生囲む会 (就職) (3年)
- 日商簿記検定 (希望者)
- エントリーシート提出 (3年就職希望者)
- 大学進学対策講座 (3年)
- 看護医療セミナー (希望者)
- 全商簿記・ビジネス検定 (希望者)
- 公務員セミナー・模試 (3年)
- 7月 求人受付開始・説明会 (3年)
- 公務員セミナー・模試 (3年)
- 夏期休業中インターンシップ (2年)



## 生徒の様子 (カレーフェス)



## 生徒の様子 (卒業生を囲む会)



## 大学受験 (志望校決定・小論文対策) について

～3年生の志望校決定と小論文対策、これからの過ごし方～  
 6月に入り、進路について焦りを感じている人もいるでしょう。焦らず、次のステップを着実に進めてください。3年生はすでに多くの「宝物」を持っています。全8回の小論文講座、池上彰さんのライブ授業をまとめた知識ノート、毎日手元にある日経新聞電子版。ゼロから新しく始める必要はありません。今持っている武器を、これからの志望理由に結びつけられれば大丈夫です。1・2年生も、先輩たちが今こんなふうに取り組んでいる様子を、自分の数年後の姿として読んでみてください。

- ①日経電子版とまとめノートから「気になるテーマ」を見つける  
 これまでまとめた池上さんのノートや日経の記事を読み返し、「自分が気になったテーマ」を5つ書き出してみましょう。今まで積み上げてきたものを「自分の興味の地図」として可視化する作業です。この地図が、志望理由書や小論文の出発点になります。
- ②学部を3校リストアップし、推薦条件を確認する  
 興味のあるテーマから調べ、3校をリストアップしましょう。その際、「評定平均」や「出願に必要な資格(英語検定など)」を必ず確認すること。進路指導室にある「先輩たちの受験報告書」を読めば、リアルな出願実績や対策の方法が見えてきます。
- ③日経の社説に150字で「あまのじゃく」に反論する  
 日経の社説は小論文のお手本です。「勉強になった」で終わらず、あえて逆の立場から150字程度で反論をノートに書いてみましょう。これが、合格点を掴むための批判的思考力を鍛える実践トレーニングになります。

受験は一人で抱え込むものではありません。志望校の方向性が見えてきたら、いつでも入試対策の相談に来てください。進学指導室で、先生たちはあなたたちの訪れを待っています(進学指導部長 鬼頭先生より)。

## 公務員試験の合格対策

公務員試験は、一夜漬けで合格できる試験ではありません。一方で、特別な才能が必要な試験でもありません。私がこれまで多くの受験生を見てきた中で、合格する生徒には共通点があります。それは「毎日少しずつ継続する力」です。公務員試験では、数的推理や判断推理、社会科学など幅広い分野が出題されます。苦手な科目だけを避けるのではなく、毎日30分でも学習を続けることが大切です。また、「参考書を読む(Input)」だけではなく、「過去問を中心に学習する(Output)」ことで、間違えた問題を繰り返し復習し、弱点を無くすことで得点力が伸びていきます。公務員試験は長い挑戦になりますが、「最後まで努力を続けた人」が合格を勝ち取ります。焦らず、諦めず、今日できることを一つずつ積み重ねてくださいね。(職業指導部長 北川先生より)

## インターンシップについて

インターンシップは、単に仕事を体験するための行事ではありません。自分の将来について考える大切な機会です。私自身、これまで多くの企業や行政機関、地域団体と連携しながら、生徒の皆さんの進路指導に携わってきました。その中で感じるのは、「実際に体験した人ほど進路選択に自信を持てる」ということです。職場では、学校では学べない責任感やコミュニケーションの大切さを実感します。また、社会人の方々がどのような想いで仕事に取り組んでいるのかを知ること、自分に足りない力や今後伸ばしたい力も見えてきます。また、失敗を恐れる必要はありません。大切なのは積極的に行動したり、分からないことは質問したりし、多くのことを吸収しようとする姿勢です。その経験は、就職試験や進学面接だけでなく、将来社会に出たときの大きな財産になります。(職業指導部長 北川先生より)



## 編集後記

皆さんもご存知の通り「やめられない、とまらない♪」でおなじみのロングセラー商品『かっぱえびせん』のパッケージ仕様が、中東情勢の影響によりインクの調達の不安定化を受けて白黒にすることで話題になっていますね。ところで、1964年に発売した『かっぱえびせん』は、カルビーの創業者(松尾 孝)が幼少期の好物であった「川えびの天ぷら」に着想を得て誕生したといわれています。何度も試行錯誤を重ねた結果、新鮮な天然えびを殻ごと丸ごと使用することで、風味のよい、カルシウムも摂れる商品が完成しました。62年経った今でも人気のロングセラー商品として、「やめられない、とまらない♪」人生を楽しむお供として、これからもあなたの毎日に寄り添ってほしいという想いを込めて「このえび、とーまれ」を60周年の時のキャッチコピーとしたそうです。ところで、皆さん、最近、かっぱえびせんを食べましたか。やっぱり食べ始めたたらやめられませんか。

